

湖畔の晩鐘

帝キ 時代映畫

原案並脚色者 山村靖氏
監督者 富澤進郎氏
撮影者 塚越成治氏

主要役割

立瀬源二郎 尾上紋十郎氏
龍井金八 瀬川路三郎氏
伊藤寛當 嵐 繁代氏
その娘お綾 津守 玉枝嬢
小野崎作之進 中村 太郎氏
牛田家千代吉 御園 花下嬢
兄 虎造 市川 荒十郎氏

解説—富澤進郎氏が東亞から轉社して、第一
回の監督作品である。

略筋—幕末の頃—當時國學者伊藤寛當は熱
烈な勤王論者であつた。その娘お綾は父の高弟
なる志士立瀬源二郎と戀仲であり、父寛當もそ
れを許して居た。兩人の戀仲を知つて失戀の金
八は邪な考へから、源二郎を陥れようとして遊里
に誘つて二人の仲を引、離さうとした。或日源二
郎は突然幕吏に變つた時、折好く通り合はし
た小野崎作之進と祇園の名妓牛田家の千代吉に
致はれた。千代吉を戀して居た作之進はそれ以
來千代吉の心が源二郎に傾いたのを知つてお綾
に偽つて二人の事を知らした。その上千代吉を
殺したので、源二郎は恩人の仇として作之進
を斬り、幕吏の手先となつて常に千代吉を害す
る兄虎造も殺して了つた。作之進

せを信じたお綾は、
愛のない金八と結婚した。金八は自己の罪惡に
狂死せんとする臨末寛、寛當を刺し、至純な愛
を奪つた罪を源二郎お綾に謝して死んだ。源二
郎の眞情を知つたお綾は總てを謝した。許し合
つた二人は幕吏の手を逃れて琵琶湖の底深く若
き身を沈めて了つた。